

## 平成28年度岩手大学教育学部附属教育実践総合センター活動報告

本センターは、学部改組、教職大学院新設に伴い、平成28年度から新しい体制でスタートすることになった。構成員は、平成27年度のセンター長、専任教員4名、客員教授2名、事務補佐員1名体制から、センター長、任期つき兼任教員4名(美術教育、特別支援教育、社会科教育、理科教育)、客員教授2名に変更になった。事務体制は教育学部総務係が担当している。現員の変更に合わせて業務内容も大きく見直すことになった。

所在地：〒020-8550 岩手県盛岡市上田3丁目18-33

電話：019-621-6640(事務室) FAX：019-621-6600(事務室)

構成員：センター長(兼務) 教授 塚野 弘明 (tsukano, 6642) [学校教育科]  
 兼任教員 教授 名古屋恒彦 (nagoya, 6632) [特別支援教育]  
 兼任教員 准教授 煤孫 康二 (susu, 6579) [美術教育]  
 兼任教員 准教授 菊地 洋 (hkikuchi, 6518) [社会科教育]  
 兼任教員 准教授 久坂 哲也 (hisasaka, 6826) [理科教育]  
 客員教授 佐々木壮一 (ssasa, 6686)  
 客員教授 陣ヶ岡安雄 (jingaoka, 6686)

※ ( ) 内のアドレスでは [@iwate-u.ac.jp] を、電話番号では局番 [019-621] を省略しています。

### I 学内での年間活動状況

#### 1 学部・大学院教育

##### (1) 学部教育

専任教員および教育実践学サブコース所属学生が廃止になったため、2年生以上の旧カリキュラムを旧専任教員が担当している。

教育工学

認知心理学

生活科教育法

教育実践研究B

授業実践研究Ⅱ・Ⅲ

教授行動論特殊講義

生徒指導

教育臨床研究Ⅰ・Ⅱ

##### (2) 大学院教育

大学院においても旧カリキュラム対象の2年生を対象に講義を旧専任教員が担当している。

認知心理学の理論と教育実践

授業研究・分析方法

学習指導法の実践と課題

学級経営の実践と課題

学校臨床実践論Ⅰ

学校臨床事例研究Ⅰ・Ⅱ

子ども理解の実践と課題

キャリア教育と子どもの自立支援

卒業研究：12名

課題特別研究：1名

#### 2 発行事業

(1) 岩手大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要

(2) 岩手大学教育学部附属教育実践総合センターニュース

## Ⅱ 対外的な教育・研究活動状況

### 1 教育実践部門（地域連携事業を含む）

#### 1-1 教員研修

##### (1) 学校教育支援事業

学力向上などをテーマとし、教育学部教員が学校現場に向いて現職教員を対象とした研修を実施

#### 1-2 学生派遣（実地教育）

##### (1) ボランティア・チューター（紫波町、矢巾町、雫石町）

県内の3つの町の小学校、中学校に年間を通じて、学習指導、特別支援教育などの支援を目的として学部生を約40名派遣した。

##### (2) 盛岡市生活困窮世帯の子どもに対する学習支援事業

教育学部学生を約20名派遣した。

#### 1-3 生涯学習支援

##### (1) 教育学部出前講座

花巻市：市民対象の5講座に教員5名を派遣した。

## 2 教育臨床部門

専任教員の移動により本年度から教育臨床部門は教育実践総合センターの事業から除外することになった。

## 3 教員研修会・講演会・シンポジウム

### (1) 平成28年度教員研修会

日時：平成28年6月18日（土）12：30～15：30

場所：岩手大学教育学部北桐ホール

講話：「岩手の教員に期待すること」

岩手県教育委員会事務局教職員課

首席経営指導主事兼小中学校人事課長

荒川 享 司 先生